

中国・韓国から大勢のお客様がお見えになります。理事の方は、万障お繰り合わせの上、何卒ご参加下さいますようお願い申し上げます。

平成 29 年 9 月

第 15 回日中韓居住問題国際会議東京大会のご案内

日本居住福祉学会

日本と中国、韓国の居住問題にかかわる学会が毎年持ち回りで開催する日中韓居住問題国際会議が 2017 年 10 月 19 日から 22 日に東京・池袋等で開催されることになりました。

今回の第 15 回国際会議は日本医師会のご協力を得て開催されます。

15 回会議の主題は「住居と健康」です。医療技術が発達した現在においても住居や居住環境のあり方はますます重要な意味を持つ本質的課題です。会議では、これを 3 つのサブテーマに分けて日本、中国、韓国からそれぞれ 1 組ずつ計 9 つの発表が行われます。

第一のサブテーマは「健康な居住環境の構築」です。どのような疾患も居住環境の影響を受けており、疾病の原因、療養空間の提供、疾病予防の空間提供など多くの課題があります。日本の発表者は日本医師会副会長の今村聡さまです。日本医師会は近年、とくに高齢化に対応して健康寿命を伸ばすために住まいの環境の改善を重視しています。

第二は「高層住宅居住者の健康問題」です。現代都市のシンボルや過密都市の解決策として超高層住宅が建設されていますが、子どもの成長やコミュニティの形成に大きな負の影響を与えています。日本の発表者は、疾病を防止し健康な暮らしに寄与する住宅づくりを指導している住宅産業塾塾長の長井克之さんです。

第三は「大災害の居住問題」です。近年、地震、台風、豪雨・洪水、津波など甚大な被害をもたらす災害が頻発し、被災した人たちが避難施設、仮設住宅、復興住宅といった居住環境の中で過酷な生活を強いられ、少なくない人々が亡くなっています。この問題の日本の発表者は、熊本地震などの現地調査をしている日本居住福祉学会の野口定久副会長（日本福祉大学特任教授）です。

大会は、20 日に東京都小金井公園内にある江戸東京たてもの園の見学と居住環境とケアを大切にしている慶友病院の紹介ビデオ上映会。21 日は朝 8 時半からシンポジウム、夕方から交流パーティーとなっております。21 日のみの参加も可能です。

皆様、第 15 回日中韓居住問題国際会議東京大会にご参加くださるようお願い申し上げます。開催要領と日程は、別紙をご参照ください。また、大会開催のための資金も不足しております。ご寄付や協賛などのご支援もよろしくお願い申し上げます。

別紙① 第 15 回日中韓居住問題国際会議東京大会 開催案内

別紙② ご寄附・協賛趣意書と寄付申込書

別紙③ 住宅新報 9/5 号掲載記事

別紙④ 参考：長井克之塾長講演セミナー案内